

## 第九章 神経内科プログラム

### 1. 研修到達目標

- 1) 神経学的症候や病態の意味を正しく理解し、適切な神経学的所見をとることが出来る。
- 2) 神経生理、神経放射線をはじめ、各種神経学的検査結果の意味・解釈や治療の内容を理解出来る。
- 3) 適切な確定診断を行い、治療計画を立案し適切な診療録を作製できる。
- 4) 診断・治療方針の決定困難な症例や神経内科救急をはじめ迅速な対応が必要な症例などにおいて、自科の専門医、他科の医師に適切にコンサルトを行い、適切な対応ができる。
- 5) コメディカルと協調、協力する重要性を認識し、適切なチーム医療を実践できる。
- 6) 患者から学ぶ姿勢を持ち、患者と患者の周囲の者に対するメンタルケアの大切さを知り、実践できる。
- 7) 神経学的障害をもった患者の介護・管理上の要点を理解し、在宅医療を含めた社会復帰の計画を立案することができる。
- 8) 神経内科救急疾患における診察の仕方、処置の仕方について学び、実践できる。
- 9) 医療安全、倫理、個人情報保護の概念、医療経済について必要な知識を有する。

### 2. 検査

脳波、電気生理、高次脳機能検査、神経放射線検査など。

### 3. カンファレンス

症例検討会、リハビリテーションカンファレンス、抄読会、など。

#### 4. 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午後	病棟回診	病棟回診 症例検討会	病棟回診 病棟カンファレンス	病棟回診	リハビリテーションカンファレンス 病棟回診